平成14~16年度 教育研究業績書 奈良大学在職期間 1988年 現在 氏名 ハフシ メッド 最終学歴 Lyon 大学大学院博士課程 大阪大学大学院博士課程 取得学位 臨床心理学のDESS 学術博士 日本心理学会 日本心理臨床学会 日本精神分析学会 日本集団精神療法学 所属学会 精神分析 心理療法 集団精神療法 専門分野 対象(対人)関係の類型とその病理に関する実証的・臨床的研究 研究課題 【研究上の特記事項】 【教育上の特記事項】 【社会的活動】 (主要なもの) 【学内活動】(学内職歴を含む・主要なもの)

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概	要
(著書) 「ビオンへの道 標」	単著	2003年	ナカニシヤ出版		
「愚かさ」の精神 分析 ~ ビオン的 観点からグループ の無意識を見つめ て~	単著	2004年	ナカニシヤ出版		
(学術論文) This is not a pipe, it's a transformation, a lie: Magritte diagnosized by Bion.	単著	2002年	奈良大学紀要第30、109- 128		
触媒としての「特 殊作動グループ」 ~ D - グループに おいてそれを取り 扱うとき~ .	単著	2002年	集団精神療法第18巻1号、 35-44		
A Shriek From the Protomental Sysem: Faint as a result of a failure in containing the group's latent dependency.	単著	2003年	奈良大学紀要第31、235- 252		

The Other From of Leadership: Diagnosis and containment of the specialized work group.		2003年	奈良大学大学院研究年報第 8、7-32	
プロトメンタル・ ジステムからプの き ~ グループの 潜在インスののの 財による 例 ~ .	単著	2003年	集団精神療法第19巻1号、 38-46	
原子力発電に対す る安心感の構造 ~「安心」のイ メージに関する調 査をもとに~.	共著	2003年	Journal Of The Institute of Nuclear Safety System, Vol. 10, 10–21	
「グループ心性」 の多面性 ~ その 表現、識別と取り 扱いについて~.	単著	2004年	集団精神療法第20巻1号、 32-40	
「グループ・プロ セスの評価道具と しての Bion の グ リッド ~一つの 実験的試み~.	単著	2004年	集団精神療法第20巻2号、 99-104	

A Psychoanalytic Inquiry into the Protomental Roots of The Sudden Increase of Tuberculosis in Japan: A bionic interpretation.	接	2004年	奈良大学紀要第32、117- 133	
Eating Disorders Seen from a Bionic Perspective: Developing a scale to measure the family culture.	単著	2004年	奈良大学大学院研究年報第 9、7-28	